

## 平成 23 年度第 2 回佐倉市入札監視委員会議事概要

|  |   |
|--|---|
| 日 時  | 平成 24 年 1 月 24 日 (火) 午前 10 時 00 分～午後 12 時 00 分  |
| 場 所  | 佐倉市役所 議会棟第 2 委員会室   |
| 出席者  | <委 員> 湯川委員、関谷委員、魚住委員<br><事務局> 契約検査室<br><担当課> 環境保全課・道路管理課・下水道課・資産管理経営室<br>教育総務課・学務課・音楽ホール  |
| <b>【議事概要】</b>  |   |
| ○議題 1 入札・契約の手続きについて  |   |
| 平成 24 年 4 月から平成 24 年 9 月までに実施した一般競争入札・随意契約・低入札価格調査実施案件及び指名停止業者について、事務局から報告をしました。 |   |
| [主な質疑]   |   |
| (質問)   | 佐倉市立志津中学校校舎耐震補強工事が総合評価落札方式で行われたとのことですが、もう少し詳しく総合評価落札方式のことを教えてください。  |
| (回答)   | 総合評価落札方式とは、通常の価格だけによる競争ではなく、入札価格を点数化するとともに企業の施工能力や、事業所の所在地、災害等に対する協力、また高齢者の雇用や障害者の雇用、育児・介護休暇など福祉に対する取り組みなどを価格以外の評価点として点数化し、その合計点が一番高い者を落札者として決定するものです。<br>佐倉市では平成 23 年 7 月 1 日に要領等を制定し、予定価格が 7,000 万円以上の建築一式工事、土木一式工事、管工事の中から試行ということではじめております。<br>この佐倉市立志津中学校校舎耐震補強工事が初めての施行導入した案件となっております。 |
| (質問)   | 会社の実績や所在地などを点数化するとのことですが、その価格以外の評価点というのは公表しているのですか。   |
| (回答)   | すべて公表しております。例えば配置予定技術者の実績や、その会社の施工実績や工事成績の平均点などを評価項目ごとに点数化した表を佐倉市のホームページに載せております。参加した業者が他の業者の点数を見ることもできますし、参加業者以外でも見るできるようになっております。   |
| (質問)   | 低入札価格調査実施案件の一覧表を見ると水道部の案件が多いようですが、積算根拠が実態と乖離しているということはないですか。  |
| (回答)   | それぞれ業者に担当課で聞き取り調査をしたところ、工事に使う資材が安く入るとい理由が多かったようです。市場での価格とは別で、各会社がそれぞれ資材の調達  |

ルートを持っていることが理由と考えています。

また、水道部の入札では昨年度全体でも落札率が 67.2%となっており、競争が働いているのも理由であると考えます。

(質問) 大体でいいのですが、これらの入札では平均何者くらいが入札に参加してきているのですか。

(回答) 平成 22 年度で言いますと、平均で 8 者位が参加しています。

(質問) 参加している業者は毎回同じ業者ですか。

(回答) 入札参加者の半数くらいは毎回参加しているようです。前の入札で大きい工事を落札した業者が今回は参加していないとか、このエリアは得意な地域だから参加するという場合もあります。

#### ○議題 2 制限付き一般競争入札参加資格の設定経緯等について

平成 24 年 4 月から平成 24 年 9 月中に実施した一般競争入札・随意契約の中から当番委員が抽出した 10 件の案件について、事業担当課職員による事業説明及び質疑応答を行いました。

#### [主な質疑内容]

案件①佐倉市立臼井小学校校舎耐震補強及び増築建築工事（一般競争入札）及び

②佐倉市立志津中学校校舎耐震補強建築工事（一般競争入札） ※一括審議

(質問) 開札調書の中で、調査基準価格とはどういうものですか。

(回答) 予定価格に 70%をかけた金額です。この金額を下回った入札金額であった場合には落札者として決定する前に低入札価格調査をおこなうこととなります。

(質問) 入札者が佐倉市立臼井小学校校舎耐震補強工事では 8 者、佐倉市立志津中学校校舎耐震補強構工事は 3 者と少ないように感じますが、過去の同じような工事での入札参加状況はどうなっていますか。

(回答) 工事の内容または発注時期にもよって入札参加者数の状況は変わっています。過去の耐震補強の工事で、入札参加者が多かったものとしては 14 者参加した工事があります。一番少ないものは今回の志津中学校の工事となります。

(質問) 耐震補強工事を何件かやっているとのことですが、すべて違う会社が落札していますか。

(回答) すべて違う会社です。

(質問) 同じ年度の同じような内容の工事にもかかわらず、臼井小学校は12者が参加し8者が入札をしている。一方、志津中学校は5者の参加で3者の入札となっている。この違いはどのようにお考えですか。

(回答) 志津中学校の耐震補強工事は、佐倉市で初めて総合評価方式を取り入れた案件ですので、会社の方が参加することを控えたということ、また、発注時期の違いということで、たとえば5月では空いている会社でも、7月位になると手持ち工事があって参加しなかったということも考えられます。

(質問) 審議事案説明書の中で、資格確認申請者数と入札参加資格者数とありますが、この違いを詳しく説明してください。

(回答) 入札の公告の際に、資格要件を明示しております。例えば名簿に登載されている点数が800点以上であるとか、会社の施工実績があるかどうかを入札参加の条件とすることがあります。それを見て会社として、この入札に参加したいという意思で参加申請をした業者数が資格確認申請者数となります。その後、佐倉市として公告に示した要件を満たしているかどうかを審査し、入札に参加する資格があると判断された業者数が入札参加資格者数となります。仮に、参加申請をした業者が700点であったら資格要件を満たしませんので、資格確認申請者数が8者でも入札参加資格者数は7者となります。

### 案件③佐倉市市庁舎耐震診断業務委託（随意契約）

(質問) 庁舎が多岐にわたる構造でできている特殊な建物という説明がありましたが、特殊なものだから当初設計した会社を選定するというはこのような業界では通例ですか。

(回答) ほかの県でも特殊な庁舎がありますが、そこでも同様の例はあります。

(質問) 市内に特殊な構造の建物というのはほかにありますか。

(回答) 有りません。

(質問) 県の積算基準を使用して積算し、それに対して業者から提出された見積価格を比較しているのですが、一般競争入札だと請負率が99%というのは他にないと思うのですが、この比率をどのようにお考えですか。

(回答) 国、県の積算基準を使っているということは相手方も知っていると思いますので、近い金額が出るということは考えられます。今回、随意契約ですので競争という部分が働いていなかったと考えます。

(質問) 特殊ということですがもう少し詳しく説明してください。また、耐震診断ということであれば他の業者でもできるのではないですか。

(回答) 普通の建物ですと、柱があつて、梁があつて、床をつくるということになるのですが、佐倉市のこの庁舎は両脇の筒の部分に床を吊らせている構造となっています。このように特殊な構造というのは構造設計者が特別に作るのですが、そこには設計思想というのが多分に反映されます。その思想をちゃんと理解しないと計算ができないということを含めて、社団法人の日本建築構造技術者協会というところに問い合わせをしたところ当初設計した構造会社にやってもらうことがふさわしいという回答がありました。

(質問) 今回の業務はどこまでを求めているのですか。例えば数値を図るだけか、工事の設計も含まれるのか範囲はどこまでですか。

(回答) 内容は建物ごとに現況調査や構造計算をして、耐震指標であります  $I_s$  値を出して第三者の判定機関に諮っていただくというものです。  
その後のどのように補強をしていくかなどの設計業務は含まれていません。

(質問) 診断結果や業務の中間報告などは出ているのですか。

(回答) 現在、判定機関に諮っているところですので、正確な結果は出ておりません。

#### 案件④災：道路復旧工事（4番）（随意契約）

(質問) 発注事業一覧表を見ると同じ会社が2件並んでいて、一方は60.1%、もう一方は96.6%と全然違います。この違いをどう考えますか。

(回答) この工事は一度、一般競争入札の手続きにより60.1%の落札率で落札者が決定されたのですが、その落札業者が契約を辞退したために随意契約をしたものです。その際、随意契約ができる条件として、先に行った入札の最低価格者の金額以下である場合に契約できると定められています。言い方を変えると落札金額が予定価格と同様の考えになっているということです。

もう一方の96.6%ということについては、随意契約なので予定価格は公表していませんが、県の積算基準は公表されていますので、工事内容によって大体この位の金額だろうというのは、会社としてもある程度分っていると考えられます。

(質問) 入札を実施して、落札業者が辞退したとのことですが、もう少し詳しく説明してください。

(回答) 当初落札した業者は、佐倉市の入札参加資格者名簿に今年度の6月1日付けで登録された業者です。開札の結果落札したのですが、後日になってその業者から、入札金

額に誤りが見つかりこの金額では難しいとの会社の理由によって辞退届の提出を受け付けました。

(質問) 辞退した会社ができないという金額で別の業者が工事を行うということに不安はありませんか。

(回答) 随意契約を締結した業者は、入札金額が二番目に低い金額でした。その業者の入札金額は、辞退した業者の価格に対しあまり大きな差のある金額ではなかったため随意契約の手続きを進めました。工事についても、仕様書どおりに施工できるということを確認していましたので不安は特にありません。

#### 案件⑤RBD303鹿島川第1三号幹枝線実施設計業務委託(一般競争入札)

(質問) 発注事業一覧表の、1番のRBR302西志津排水区下水道(雨水)家屋事後調査業務委託、2番のCBD304志津5号枝線実施設計業務委託、3番のRBD303鹿島川第1三号幹枝線実施設計業務委託、14番の手繰川第1三号幹線改修実施設計業務委託など似たような業務委託がすべて20%台となっていますが、積算根拠が実情と乖離しているのではないですか。

(回答) ここ2、3年の下水道関係の設計業務委託は3割位が多くなっています。参加者が多く、落札しようとするこのような金額になってしまうようです。

(質問) 低い金額での業務になってしまうが、成果品の評価はどうですか。

(回答) 前年度にも同様の業務で、やはり30%位の落札価格で業務を行ったことがあります。その時には特に問題なく仕上がっていると判断できます。

(質問) 積算根拠を市独自で見直すことはできないのですか。

(回答) このような業務の発注回数は佐倉市で年間3、4件です。そのために市で独自に積算基準を作成するという事は、時間的にもとても難しいところです。全国的な積算根拠を使うことが合理的と考えます。

(質問) 3割くらいの落札率というのは全国的な傾向ですか。

(回答) 佐倉市は低いと聞いています。他の自治体では最低制限価格を設定して落札金額の下限値をコントロールしているところもあります。また、一般競争入札を実施しているところでは公告で実績要件をつけるところが多かったり、指名競争入札を実施しているところでは実績のある業者を選定することが多いようなのです。佐倉は実績要件をつけていませんので、佐倉で実績を作りたいという業者の意見をよく聞きます。

(質問) 開札調書を見ると入札金額が高いところと低いところではすごく差がありますが、その差は何と考えますか。

(回答) 先程の説明に係わりますが、競争がはたらいた結果、本当にこの案件をやりたいという業者の意欲の差だと考えます

#### 案件⑥平成23年度幼稚園、小・中学校消防設備定期点検業務委託(一般競争入札)

(質問) 開札調書を見ますと、落札業者の入札金額と一番高い入札金額とでは3倍近い差があります。毎回このような状況ですか。

(回答) ここ数年の傾向ですが、小・中学校に限らず他の施設の案件でも、この業務については大きな差がある傾向にあります。佐倉市としての積算方法は積算資料という、経済調査会が出している資料を使うのですが、そこでは点検項目ごとに消火器1本がいくら、火災報知機器1台がいくらと出ておりまして、その台数にそれぞれの単価を乗じて設計をします。ですが、基本的には資格者の手間賃という部分が多く、1日に学校何校回れるから何日間で終わる、というような人件費で積算している会社もあります。その差になるかと思われまます。

(質問) 人件費がちがうということですか。

(回答) 入札金額の高い会社は、先ほど申しましたが、消火器1本いくらで台数を乗じるといくらだよ、火災報知機1台いくらだから台数を乗じていくらというような積算方法をしている会社と予想はできます。

(質問) こんなに安い金額だと本当に大丈夫なのかという不安はありませんか。

(回答) この業務については、点検を実施して消防署に書類を提出しないといけないので、不備があればそこでチェックが入ります。とくに不安はありません

(質問) この業務についても、先ほどのコンサルタント業務の質疑にあったように実績を作りたいというような会社の考えはあると考えますか。

(回答) 一般競争入札をやっている他の自治体は、資格要件に実績を求めているところが多いです。ですので、そのような考え方が働いているとも考えられます。ただ、この業務は年2回の点検業務ですので、資格者の手間賃と少しでも会社の利益が出せるのであればということでも低くなっているということも考えられます。

#### 案件⑦平成23年度佐倉市立小中学校教育用ASPソフトウェア購入(一般競争入札)

(質問) 入札参加者が2者しかいないということについて、どのようにお考えですか。

(回答) 教育用ソフトウェアの購入については、昨年度までは学校ごとに要望をとって導入していました。その結果として、学校によってソフトがまちまちになってしまい、先生方の異動によって前の学校にはこのソフトがあったのにとか、同じ教科でもソフトが違うので慣れないなどの意見がありました。それで今年度は、市内の学校に総合的な教育用ソフトを統一して導入しようと、担当課で切り替えた経緯があります。学習探検ナビはベネッセの製品で、取り扱える業者が何者いるかまでは把握できないため、競争入札で実施しようとしたものです。

(質問) 先ほど説明の中で予算の要求時に見積書を業者から頂いたとありましたが、その業者はこの入札に参加していますか。

(回答) 基本的な5教科についてはカタログに載っていますが、生活科などの価格が載っていない教科がありましたので見積書を作成してもらいました。その業者はこの入札に参加している業者です。

(質問) ベネッセの製品ということですが、ベネッセに決めたのは誰ですか。

(回答) 総合的な教育用ソフトというのは、ベネッセのほかにもありました。入札執行の中で、もう一つソフトがあがったのですが、オプションに佐倉市が求める教科が足りなかったために結果としてベネッセになったということです。ベネッセに決めていたのではなく、入札に際しては参考想定製品としてベネッセの商品を上げましたが、それ以外でも仕様を満たせばよしということで入札にしました。

(質問) 最終的に1者が辞退して、入札者が1者となってしまったのですが、辞退の理由はどう思われていますか。

(回答) ソフトの買い取りだけではなく、各学校にソフトを納入し、学校ごとにパソコンへの設定が含まれています。その技術者の人件費をみた時に、この金額では折り合わなかったということが考えられます。

#### 案件⑧平成23年度佐倉市立小中学校一般教材備品購入(一般競争入札)

(質問) 3者参加しているのですが、毎年この3者ということはないですか。

(回答) 入札公告では地区要件で県外までとなっているのですが、各学校に教材を搬入するというので、市内の状況を知っているこの3者が並ぶということは多いです。

(質問) 過去の入札を見て、この3者が順番に落札しているというようなことはないですか。

(回答) 過去の結果では、入れ替わっている時もありますし、前年の落札業者が次の年も落

札するということがあります。業者にも得意な分野、教材会社というものがあるようでして購入品目によって変わっている状況です。

(質問) この3者は、お互いに入札に参加しているかしていないかということはわかっているのでしょうか。

(回答) 今までも入札に参加している教材を扱う業者としては、市内でこの3者ともう1者位です。お互いに参加しているであろうということは、想定はしていると思います。

#### 案件⑨サーベイメータ購入(随意契約)

(質問) 放射線ということで、市民が一番心配していることなので、早急に対応し購入していただいたことには、一市民としても評価しています。しかしながら、説明の中にもありましたが、予定価格が公表されていないにもかかわらず、2者から提出された見積書の記載金額が同額というのはどのようにお考えですか。

(回答) 購入する際、千葉県の担当課にも相談しながら事務を進めていたのですが、現在はこのような機器といいますと需要と供給のバランスがある意味崩れていることもありまして、大量に購入すれば多少の値引きということもあるのかもしれませんが。しかし数台ですので、いわゆる定価でということになってしまったものと考えられます。

#### 案件⑩東京交響楽団佐倉ベートーヴェン・シリーズ第4弾(随意契約)

(質問) 誰に来てもらうかということはどういうように決めているのですか。

(回答) まず、周辺の文化施設での開催状況を見まして、集客が多かったものを選ぶことがあります。また、佐倉市で過去に公演し収益があったものの中から、例えば5年、10年くらい経って、もう一度来てもらうということもあります。あるいは、その時代ということで、音楽雑誌で話題になっているアーティストを選ぶこともあります。

(質問) 企画は誰が決めているのですか。たとえば市民の方が入って、どういう企画をしようというような委員会みたいなものはないのですか。

(回答) 委員会はありません。ただ、自主文化事業で公演をした際、毎回アンケートをとっております。アンケートの中で、こんな分野の音楽が聞きたいとか、こんなアーティストの演奏をやってほしいとなどの要望がありますので、その要望を取り入れた形で職員が企画を選定しています。

(質問) 全国公立文化施設協会のモデルで積算していると説明でありましたが、事務所と交渉した結果それよりも高くなるあるいは安くなるということはあるのですか。

(回答) 全国公立文化施設協会のモデルより高くなる安くなるということはありません。ただし、たとえばリサイタルのピアニストを1ランク下の方でお願いできるということになれば価格は下がるのですが、歌手の方のランクによってピアニストはこのランクの方でなければということもありますので、基本的にはモデルの価格が企画の価格ということになります。

(質問) では全国公立文化施設協会にお願いするものは過去からすべて予定価格と見積価格はイコールになるということですか。

(回答) そのとおりです。

その他

なし